

大型連休中の海外市場：リスク選好続いたが、トランプ大統領発言で暗転

- 大型連休中の海外市場は5月3日にかけてリスク選好優勢、しかし、トランプ大統領発言で、6日はリスク回避の展開
- 1日、パウエルFRB議長は一部市場の利下げ期待に釘
- 3日の米雇用統計は良好な内容、米景気へ自信深まる
- 5日、トランプ大統領は突如、対中関税引き上げを警告、年初来の米中通商協議進展への期待に水を差す格好に

■ 4月29・30日：米株続伸、適温相場が持続

29日の米経済指標では3月の個人消費が予想を上回り、インフレ率が予想を下回る結果に。熱くもなく冷たくもない景気がリスク選好の持続に最適との見方が拡大。米大手企業決算ではヘルスケア大手メルクやファイザーなどの好決算受け、S&P500が30日に史上最高値を更新。一方、アルファベット（グーグルの親会社）の低調な決算で30日のナスダック総合指数は前日の最高値から反落。

■ 5月1・2日：米株下落、米利下げ期待が低下

アップルの好決算もあり、1日の米株は序盤上昇。しかし、FOMC（連邦公開市場委員会）後の記者会見で、パウエルFRB（連邦準備理事会）議長がインフレ率鈍化は一過性と指摘し、市場内の利下げ期待後退に伴い反落。米中通商協議への警戒や4月のISM製造業指数低下も重石に。原油価格は4月23日をピークに下落基調。ロシアの原油生産が減産目標を超えて推移し供給過剰懸念も浮上。

■ 3日：米株反発、米雇用統計で安心感広がる

4月の米雇用統計からは雇用拡大が力強い一方、賃金上昇が緩慢な様子を再確認。インフレなき良好な米景気拡大、FRBの緩和的な金融政策が続くと楽観でリスク選好優勢。ナスダック総合指数は再び最高値更新。英地方選挙は与党保守党が大敗、最大野党の労働党も議席減の一方、EU（欧州連合）離脱を問う2度目の国民投票を求める自由民主党が大躍進。EU離脱の行方は一段と混沌。

■ 6日：米株反落、米中通商摩擦の再燃を懸念

4日の北朝鮮ミサイル発射で警戒感も残るなか、5日にトランプ米大統領が、10日から対中制裁関税（対象は第3弾の総額2,000億米ドル）の税率を10%→25%に引き上げるとツイートすると、6日は中国筆頭に海外株下落、為替市場は円全面高とリスク回避一色に。その後、中国側が、対米通商協議に向けた交渉団訪米（8日予定）を準備との報道を受け徐々に落ち着き取り戻す展開。（瀧澤）

● 大型連休中の主要経済指標およびイベント

4/29 月

- (米) 3月 個人所得・消費(消費、前月比)
2月: +0.1%、3月: +0.9% (予想: +0.7%)
- (米) 3月 PCE(個人消費支出)デフレ率(前年比)
総合 2月: +1.3%、3月: +1.5% (予想: +1.6%)
除く食品・エネルギー
2月: +1.7%、3月: +1.6% (予想: +1.7%)
- (米) アルファベット 1-3月期 決算発表

4/30 火

- (米) FOMC(連邦公開市場委員会、～5月1日)
FF目標金利: 2.25-2.5%→2.25-2.5%
- (米) メルク 1-3月期 決算発表
- (米) ファイザー 1-3月期 決算発表
- (米) アップル 1-3月期 決算発表
- (中) 4月 製造業PMI(政府)
3月: 50.5、4月: 50.1(予想: 50.5)
- (中) 4月 製造業PMI(財新)
3月: 50.8、4月: 50.2(予想: 50.9)
- (他) 米中通商協議(～5月1日、北京)

5/1 水

- (米) パウエルFRB議長 記者会見
- (米) 4月 ISM製造業景気指数
3月: 55.3、4月: 52.8(予想: 55.0)

5/2 木

- (米) イラン産原油の全面禁輸開始
- (英) 地方選挙

5/3 金

- (米) 4月 ISM非製造業景気指数
3月: 56.1、4月: 55.5(予想: 57.0)
- (米) 4月 労働省雇用統計
非農業部門雇用者数(前月差)
3月: +18.9万人、4月: +26.3万人(予想: +19.0万人)
平均時給(前年比)
3月: +3.2%、4月: +3.2%(予想: +3.3%)
失業率
3月: 3.8%、4月: 3.6%(予想: 3.8%)

5/4 土

- (他) 北朝鮮が短距離ミサイル発射

5/5 日

- (米) トランプ大統領が
対中関税を引き上げる(税率10→25%)とツイート

注) (米)は米国、(英)は英国、(中)は中国、(他)はその他、を指す。

出所) 各種情報、Bloombergより当社経済調査室作成

主要金融市場の動き

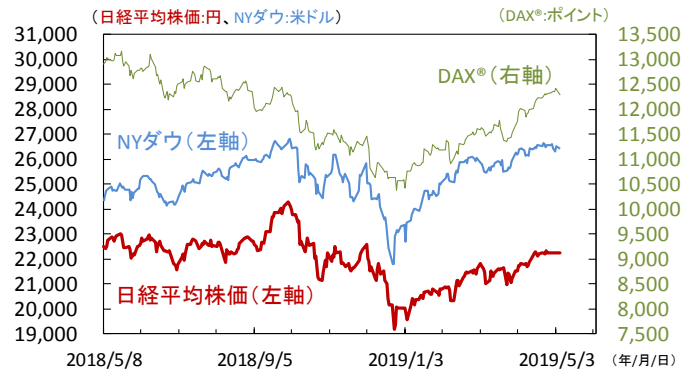
株式	(単位:ポイント)	5月6日	4月26日	変化幅
日本 日経平均株価(円)		休場	22,258.73	---
- CME日経平均先物(円)		22,205.00	22,335.00	-130.00
TOPIX(東証株価指数)		休場	1,617.93	---
米国 NYダウ(米ドル)		26,438.48	26,543.33	-104.85
S&P500		2,932.47	2,939.88	-7.41
ナスダック総合指数		8,123.29	8,146.40	-23.11
ドイツ DAX®指数		12,286.88	12,315.18	-28.30
中国 上海総合指数		2,906.46	3,086.40	-179.94
商品	(単位:米ドル)	5月6日	4月26日	変化幅
原油 WTI先物(期近物)		62.25	63.30	-1.05
10年国債利回り	(単位:%)	5月6日	4月26日	変化幅
日本		休場	▲0.045	---
米国		2.471	2.499	-0.028
ドイツ		0.006	▲0.022	0.028
オーストラリア		1.737	1.778	-0.041
為替(対円)	(単位:円)	5月6日	4月26日	変化率%
米ドル		110.76	111.58	▲0.73
ユーロ		124.07	124.46	▲0.31
英ポンド		145.05	144.18	0.60
オーストラリア(豪)ドル		77.44	78.62	▲1.50
中国人民元		16.39	16.59	▲1.16
シンガポールドル		81.26	81.94	▲0.83
インドルピー		1,5960	1,5933	0.17
ブラジルリアル		27,924	28,372	▲1.58

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。

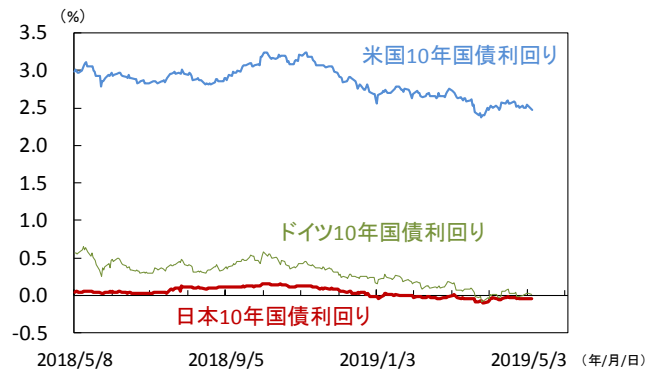
CME日経平均先物は円建て契約で、単位: ポイント。
表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で致ししない場合があります。本資料は、作成時点でBloombergにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Bloombergにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

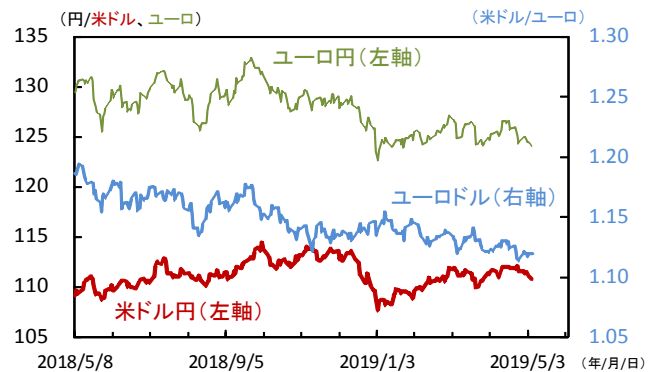
主要国株式の動き



主要国金利の動き



主要通貨の動き



注) 直近値は2019年5月6日(日本の株式と10年国債利回りは4月26日)時点。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
TOPIX(東証株価指数)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。
ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会